

平成28年度

シラバス

6年次
医療行動科学9



日本大学松戸歯学部

平成28年度 6年次前期 医療行動科学9 シラバス

1. 実施時期：平成28年4月1日～6月27日

2. 一般目標(GIO)：

歯科医学に関する研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

3. 行動目標(SBOs)

- 1) 歯科医学情報に関する臨床上の問題点を説明できる。
- 2) 抽出した臨床的問題点について分析を加え、適切なプレゼンテーションができる。

4. 講義実施要項

- 1) 実施場所：400教室
- 2) 講義日時：日程表(次頁)を参照
- 3) メディカルプレゼンテーション(4月2日～6月4日)

(1) 第108回および第109回歯科医師国家試験臨床実地問題の分析と解説(3～4題/科目)

下表に問題を担当する班と担当講座を示す。担当講座に関連する臨床実地問題の中から各3問を選択し分析と解説を行う。

班	担当講座	班	担当講座
A	保存修復学	G	小児歯科学
B	歯科矯正学・障害者歯科学	H	歯科臨床検査学・病理学・放射線学
C	歯科麻酔学	I	有床義歯補綴学・顎顔面外科学
D	有床義歯補綴学	J	クラウンブリッジ補綴学
E	歯内療法学	K	口腔インプラント学・顎口腔機能治療学
F	口腔外科学	L	歯周治療学

(2) 分析結果の解説とプレゼンテーション

発表内容は、症状・状態や病変の理解と診断、処置方針及びその根拠等について解説する。
分析結果のプロダクト作成とプレゼンテーション方法については別に連絡する。

5. 平常試験①～③

MCQ形式の試験とする。

第108回および第109回歯科医師国家試験臨床実地問題の改変問題 24問(配点は1問2点)

5. 総合試験

MCQ形式の試験とする。

第108回および第109回歯科医師国家試験臨床実地問題の改変問題 36問(配点は1問2点)

なお、総合試験の追再試験は行わない。

6. 評価

平常試験および総合試験の正答率が60%以上の者を医療行動科学9の合格者とする。

平成28年度 医療行動科学9 日程表

出席確認 8:35～8:40、会場 400教室

月 日	曜	講義(試験)時間	コース	オーガナイザー	分野	担当講座	講義担当者	
4月1日	金	15:10～15:25	ガイダンス	小見山 道				
4月2日	土	8:40～9:30	メディカルプレゼンテーション①	岩 井 啓 寿	保存修復学	保存修復学①	岩 井 啓 寿	
		9:40～10:30		五 関 たけみ	歯科矯正学	歯科矯正学①	五 関 たけみ	
		10:40～11:30		石 橋 肇	歯科麻酔学	歯科麻酔学①	石 橋 肇	
		11:40～12:30		木 本 統	有床義歯補綴学	有床義歯補綴学①	木 本 統	
4月9日	土	8:40～9:30		神 尾 直 人	歯内療法学	歯内療法学①	神 尾 直 人	
		9:40～10:30		濱 野 美 緒	口腔外科学	口腔外科学①	濱 野 美 緒	
		10:40～11:30		岡 本 京	小児歯科学	小児歯科学①	岡 本 京	
		11:40～12:30		洲 上 真 奈	歯科臨床検査医学	歯科臨床検査医学①	洲 上 真 奈	
4月16日	土	8:40～9:30			飯 島 守 雄	有床義歯補綴学	有床義歯補綴学②	飯 島 守 雄
		9:40～10:30			田 中 孝 明	クラウンブリッジ補綴学	クラウンブリッジ補綴学①	田 中 孝 明
		10:40～11:30		村 上 洋	口腔インプラント学	口腔インプラント学①	村 上 洋	
11:40～12:30	高 井 英 樹	歯周治療学		歯周治療学①	高 井 英 樹			
4月18日	月	8:40～		医療行動科学9 平常試験①	小見山 道			
4月23日	土	8:40～9:30		メディカルプレゼンテーション②	岩 井 啓 寿	保存修復学	保存修復学②	岩 井 啓 寿
		9:40～10:30	五 関 たけみ		歯科矯正学	歯科矯正学②	五 関 たけみ	
		10:40～11:30	石 橋 肇		歯科麻酔学	歯科麻酔学②	石 橋 肇	
		11:40～12:30	木 本 統		有床義歯補綴学	有床義歯補綴学③	木 本 統	
4月30日	土	8:40～9:30	神 尾 直 人		歯内療法学	歯内療法学②	神 尾 直 人	
		9:40～10:30	濱 野 美 緒		口腔外科学	口腔外科学②	濱 野 美 緒	
		10:40～11:30	岡 本 京		小児歯科学	小児歯科学②	岡 本 京	
		11:40～12:30	洲 上 真 奈		歯科臨床検査医学	歯科臨床検査医学②	洲 上 真 奈	
5月7日	土	8:40～9:30			飯 島 守 雄	有床義歯補綴学	有床義歯補綴学④	飯 島 守 雄
		9:40～10:30			田 中 孝 明	クラウンブリッジ補綴学	クラウンブリッジ補綴学②	田 中 孝 明
		10:40～11:30	小見山 道		顎口腔機能治療学	顎口腔機能治療学①	小 見 山 道	
		11:40～12:30	高 井 英 樹		歯周治療学	歯周治療学②	高 井 英 樹	
5月9日	月	8:40～	医療行動科学9 平常試験②		小見山 道			
5月21日	土	8:40～9:30	メディカルプレゼンテーション③		岩 井 啓 寿	保存修復学	保存修復学③	岩 井 啓 寿
		9:40～10:30		五 関 たけみ	歯科矯正学	障害者歯科学①	梅 澤 幸 司	
		10:40～11:30		石 橋 肇	歯科麻酔学	歯科麻酔学③	石 橋 肇	
		11:40～12:30		木 本 統	有床義歯補綴学	有床義歯補綴学⑤	木 本 統	
6月4日	土	8:40～9:30		神 尾 直 人	歯内療法学	歯内療法学③	神 尾 直 人	
		9:40～10:30		濱 野 美 緒	口腔外科学	口腔外科学③	濱 野 美 緒	
		10:40～11:30		岡 本 京	小児歯科学	小児歯科学③	岡 本 京	
		11:40～12:30		洲 上 真 奈	歯科臨床検査医学	歯科臨床検査医学③	洲 上 真 奈	
6月18日	土	8:40～9:30			青 木 暁 宣	顎顔面外科学	顎顔面外科学①	青 木 暁 宣
		9:40～10:30			田 中 孝 明	クラウンブリッジ補綴学	クラウンブリッジ補綴学③	田 中 孝 明
		10:40～11:30		村 上 洋	口腔インプラント学	口腔インプラント学②	村 上 洋	
		11:40～12:30		高 井 英 樹	歯周治療学	歯周治療学③	高 井 英 樹	
6月20日	月	8:40～		医療行動科学9 平常試験③	小見山 道			
6月27日	月	8:40～		医療行動科学9 総合試験	小見山 道			
6月28日	火	8:40～9:30	予備					
6月29日	水	8:40～9:30	予備					
6月30日	木	8:40～9:30	予備					

講義日 時限
04月01日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： ガイダンス

授業の一般目標：

.....

講義日 時限 国試出題基準
04月02日 1時限 各論-Ⅲ-3-イ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い
そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月02日	2時限	総論-X-1-ア

担当者 五関 たけみ

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（矯正歯科①）

授業の一般目標： 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯科矯正学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科矯正学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科矯正学領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月02日	3時限	必修-15-ホ-b 総論-X-4-オ 総論-X-4-カ 総論-X-4-キ

担当者 石橋 肇

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（歯科麻酔学）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月02日	4時限	各論-V-6-サ

担当者 木本 統

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（全部床義歯学）

授業の一般目標： 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	1時限	各論-III-6-ウ 各論-III-6-オ

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（歯内療法学①）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	2時限	必修-15-s-a

担当者 青木 暁宣、濱野 美緒

テーマ： メディカルプレゼンテーション①(口腔外科)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	3時限	各論-II-5-イ

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション (小児歯科学①)

授業の一般目標： 小児歯科学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	4時限	総論-IX-3-イ 総論-IX-2-ケ 総論-IX-2-コ 総論-IX-2-サ 総論-IX-2-シ 総論-IX-3-ア 総論-IX-3-イ 総論-IX-3-ウ

担当者 瀧上 真奈、宇都宮 忠彦、村松 輝晃

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）①

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	1時限	各論-V-2-エ

担当者 飯島 守雄

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（局部床義歯学）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	2時限	各論-V-4-ア

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（クラウンブリッジ補綴学）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	3時限	各論-V-8-イ

担当者 村上 洋

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（口腔インプラント学）

授業の一般目標： 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 口腔インプラント治療に関する臨床上的問題点を抽出できる。
- 2) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切なプレゼンテーションができる。

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	4時限	各論-Ⅲ-9-イ

担当者 高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（歯周治療学①）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限
04月18日	1時限

担当者 平山 聡司、小見山 道、宇都宮 忠彦

テーマ： 平常試験①

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	各論-Ⅲ-3-ウ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	2時限	各論-Ⅱ-8-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（歯科矯正学②）

授業の一般目標： 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	3時限	必修-1 5-ホ-b 総論-X-4-オ 総論-X-4-カ 総論-X-4-キ

担当者 石橋 肇

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（歯科麻酔学）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	4時限	各論-V-1 0-ア

担当者 木本 統

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（全部床義歯学）

授業の一般目標： 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	1時限	各論-Ⅲ-6-エ 各論-Ⅲ-6-オ

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（歯内療法学②）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	2時限	必修-15-ス-a

担当者 濱野 美緒

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（口腔外科）

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	3時限	各論-Ⅲ-4-ア

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション（小児歯科学②）

授業の一般目標： 小児歯科学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	4時限	総論-Ⅸ-3-イ 総論-Ⅸ-2-ケ 総論-Ⅸ-2-コ 総論-Ⅸ-2-サ 総論-Ⅸ-2-シ 総論-Ⅸ-3-ア 総論-Ⅸ-3-イ 総論-Ⅸ-3-ウ

担当者 洲上 真奈、宇都宮 忠彦、村松 輝晃

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）②

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	各論-V-2-エ 各論-V-2-ウ

担当者 飯島 守雄

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（有床義歯補綴学）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	2時限	各論-V-2-カ 各論-V-4-ア 各論-V-4-イ 各論-V-4-ウ 各論-V-4-オ 各論-V-4-カ

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（クラウンブリッジ補綴学）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	3時限	各論-V-9-イ

担当者 小見山 道

テーマ： メディカルプレゼンテーション（顎口腔機能治療学）

授業の一般目標： 顎口腔機能治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	4時限	各論-III-9-イ

担当者 高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（歯周治療学②）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日 時限
05月09日 1時限

担当者 平山 聡司、小見山 道、宇都宮 忠彦

テーマ： 平常試験②

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月21日 1時限 各論-Ⅲ-3-カ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い
そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	2時限	総論-X-2-コ 各論-II-1-キ 各論-II-1-カ 各論-II-1-オ 各論-II-1-セ 各論-VI-1 5-ウ

担当者 梅澤 幸司

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（障害者歯科学）

授業の一般目標： 障害者歯科学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	3時限	必修-1 5-ホ-b 総論-X-4-オ 総論-X-4-カ 総論-X-4-キ

担当者 石橋 肇

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（歯科麻酔学）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	4時限	各論-V-10-U

担当者 木本 統

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（全部床義歯）

授業の一般目標： 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 SBOs：

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	各論-Ⅲ-6-I 各論-Ⅲ-5-I 各論-Ⅲ-5-U

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（歯内療法学③）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 SBOs：

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	2時限	必修-15-ス-a

担当者 濱野 美緒

テーマ： メディカルプレゼンテーション③(口腔外科)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	3時限	各論-II-6-ウ

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション (小児歯科学③)

授業の一般目標： 小児歯科学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	4時限	総論-IX-3-イ 総論-IX-2-ケ 総論-IX-2-コ 総論-IX-2-サ 総論-IX-2-シ 総論-IX-3-ア 総論-IX-3-イ 総論-IX-3-ウ

担当者 洲上 真奈、宇都宮 忠彦、村松 輝晃

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）③

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	1時限	必修-15-ス-a

担当者 青木 暁宣

テーマ： メディカルプレゼンテーション③(口腔外科)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	2時限	各論-V-4-ケ 各論-V-4-ス 各論-V-4-ソ 各論-V-10-ア 各論-V-10-イ

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（クラウンブリッジ補綴学）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	3時限	各論-V-8-ケ

担当者 村上 洋

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（口腔インプラント学）

授業の一般目標： 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 口腔インプラント治療に関する臨床上的問題点を抽出できる。
- 2) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切なプレゼンテーションができる。

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	4時限	各論-Ⅲ-9-イ

担当者	高井 英樹
-----	-------

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（歯周治療学③）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

=====

講義日	時限
06月20日	1時限

担当者	平山 聡司、小見山 道、宇都宮 忠彦
-----	--------------------

テーマ： 平常試験③

講義日 時限
06月27日 1時限

担当者 平山 聡司、小見山 道、宇都宮 忠彦

テーマ： 総合試験

=====